

**活動している人へ** [活動を高め、支える] [活動をつなぎ<sup>ひろ</sup>拡げる]

②資金・モノ

**Q18** 活動に必要な資金の獲得方法は？

**A18**

まず自分たちでやりくり  
足りない場合は…

実際に活動している方々の多くは資金集めに  
苦労されており、活動資金の確保が重要な課題となっています。

まずは、参加者からの入会金・会費や、利用者からの利用料金で  
やりくりすることを考えてみましょう。

次に、それだけで足りない場合には、助成金を活用するののも一つの方法です。  
ひょうごボランティア基金、地域づくり活動応援(パワーアップ)事業などでは、  
活動内容に応じた財政支援を行っています。(次ページ参照)

さらに、自分たちの活動に協賛してくれる企業や個人から寄附を募ることも  
できます。その際には、しっかりと自分たちの活動をPRする必要があります。



**活動団体からの一言アドバイス**

○資金は、まず15の町内会にそれぞれ1万円ずつ拠出してもらいました。それから、地域内の協賛企業から2千円ずつ寄付していただきました。これについては、それぞれの町内会に、地域の企業にしっかり説明してもらい、責任を持って集めてもらいました。

**資金は町内会ごとに分担**

○お祭りを開催するにあたって、コープこうべや地域の病院、地元の理美容院や家電量販店などから協賛を募りました。協賛を得るコツは、書面により依頼し、その書面に、資金援助、現物給付、広報の協力など、協賛の選択肢を複数用意しておくことです。

**選択肢をたくさん用意**

○毎年、バザーを開催しています。施設を利用されている高齢者や、ボランティアがつくった手芸品や加工品を販売しています。活動資金になるだけでなく、高齢者はこのバザーを励みの1つにして手芸などを楽しむことができますし、地域の方々とふれあいの場にもなっています。

**一石三鳥？のバザー開催**

Q&A  
活動している人へ